

＼毎月15日号は「すぎなみ学倶楽部」からちょっといい話をお届けします。／

すぎなみ学倶楽部



杉並区の隠れキャラクター、金太郎と道路の動物たち

「あれ、こんなところに金太郎の看板？」「道路にある動物の絵はなんだろう？」と思ったことはありませんか。区内で見られるこれらのキャラクター（右写真）は、昭和40年代後半～50年代に登場しました。

熊に乗った金太郎の絵は、河川や水路にふたをして道路にした場所に重量のある車が進入するのを防ぐための車止めに描かれています。子どもの遊び場を兼ねていた所もあり、昔話を知るきっかけにと、金太郎の絵柄が採用されたといわれています。残念ながら道路改修などに伴い次第に姿を消していますが、金太郎愛好家たちの調べでは、1月時点で、区内に56カ所あることが確認されています。

道路上の動物の絵は、子どもの飛び出し事故を防

ぐための路面ステッカーで、多くは「とまれ」という文字と一緒に設置されています。基本の絵柄は、パンダ、ライオン（正面、横）、イルカ、ワニの5種類で、当初採用された絵柄も、数少ないながらまだ残っています。平成30年には、杉並区公式アニメキャラクター「なみすけ」と「ナミー」を使用した絵柄も登場し、小学校の校門前に実験的に設置されています。

どこか懐かしいレトロ感漂う金太郎と動物たち。最近では、メディアで取り上げられる機会も増えて注目されているようです。すぎなみ学倶楽部の「杉並のキャラクター」コーナーでは、なみすけ・ナミーやその他の区内にあるキャラクターのプロフィールを紹介しています。皆さんもぜひ探してみてくださいね。

（涼）



すぎなみ学倶楽部ホームページ

▶文化・雑学▶杉並のキャラクター



他の記事もご覧ください

すぎなみ学 🔍